

## 教 授 会 議 事 録

日 時：平成 17 年 7 月 5 日（火）午後 3 時 05 分から午後 4 時 46 分

場 所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 21 名、助教授 13 名

議事に先立ち、新任の客員助教授の紹介及び助手から自己紹介があった。

### 議事録の確認

平成 17 年 6 月 7 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

## I. 報告事項

### 1. 学内外諸会議等報告

#### (1) 部局長連絡会議

- ① 事務部門の再構築に係る取組方針について、説明があったこと。
- ② 人事院における給与構造の見直しについて、説明があったこと。
- ③ 平成 18 年度概算要求について、配付資料により説明があったこと。
- ④ 平成 17 年度総長裁量経費について、配付資料により説明があったこと。
- ⑤ 新キャンパス整備に関する検討体制及びキャンパス移転事業について、配付資料により説明があったこと。
- ⑥ 東北大学東京分室が時間外でも利用可能になったことについて、配付資料により説明があったこと。

#### (2) 教育研究評議会

- ① 16 年度業務の実績に関する報告を行った旨の説明があったこと。
- ② 教育研究評議会として総長選考会議に候補者を推薦するための推薦方法を検討するために、総長候補者推薦方法検討 WG を立ち上げたこと。この WG において複数案を作成し、9 月の教育研究評議会に提案することとなったこと。

これに関連し、6 月 30 日に総長候補者推薦方法検討 WG が開催され、代表者に歯学研究科長を選出したこと。現在は、国内外の大学等の情報を収集しながら、検討を進めている段階であり、意見があったら申し出てほしいこと。

#### (3) 研究所長会議

- ① 7 月 26 日に平成 17 年度研究所連携プロジェクト研究中間成果報告会が開催されることについて、配付資料により報告があったこと。
- ② 国立大学附置研究所・センター長会議事務所を田町に開設したことに伴い、同会議構成員及び所属教員が利用可能になった旨、配付資料により説明があったこと。

#### (4) 財務戦略会議

- ① 教員人件費の効率化係数への対応について検討したこと。
- ② 今後予定される定年退職者の補充のあり方について検討したこと。

#### (5) 事業場長との懇談会

東北大学職員組合からの申入れのあった要求項目について、下記のとおり回答した旨の報告があったこと。

- ① 准職員・時間雇用職員に正職員と等しく、3 日間の夏季有給休暇を付与してほしいとの要求に対し、無給で試行的に 2 日間与えること。

- ② 時間雇用職員に病気休暇及び忌引き休暇を付与してほしいとの要求に対しては、病休については無給で年間 10 日間（准職員と同じ）、忌引きについては無給で親族区分に応じて付与すること。
- ③ 長期勤続者のリフレッシュ休暇を新設してほしいとの要求に対しては、ゼロ回答であったこと。

(6) 学生生活協議会

- ① 旧有朋寮問題の裁判のことについて
- ② 学友会への加入問題について

(7) 広報連絡会議

配付資料により説明があり、特に、外部に研究成果等を発表する際にはマニュアルに沿って行ってほしいこと及び、トラブルがあった場合の対応についてはスポークスマンが行うこととし、個別に行わないよう注意願いたい旨の付言があった。

(8) 部局評価責任者会議

配付資料により説明があり、認証評価基準対応評価項目 5・6・7・8・9 については、9 月末までに部局自己評価報告書を提出することになったこと。これらの項目内容は、主に教育活動であるが、研究所であっても積極的に記入してほしい旨の依頼があったことの報告があった。

このことに関し、これらの評価内容は、すべて教育活動に関するもので、研究所を評価する方法として不十分ではないか、学生だけでなく社会人も含め人材育成を行っている研究所の貢献など、評価項目を吟味し研究所の貢献が分かり、書きやすいように工夫してほしい等の意見が出され、通研の意見をまとめ次回の部局評価責任者会議に提案することとしたいので、意見があったら申し出てほしい旨依頼があった。

また、議長から認証評価機関である大学評価学位授与機構での研究活動の評価については、機構における評価体制がまだ整備されていない旨付言があった。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画戦略室

平成 18 年度特別教育研究経費の新規事業として要求した事項について、学内の審査を経て文科省に要求書が提出されたこと。

(2) 安全衛生委員会

- ① 片平キャンパスの火災について、原因はロッカーの後ろにある電気コンセントによるもので、見えない部分にも十分注意してほしいこと。
- ② 緊急連絡網について、安全衛生管理室において作成中であり、完成しだい各研究室に配付するので、活用願いたいこと。

(3) 総務委員会

- ① 企画展「世界物理年 2005」展について配付資料により説明があり、通研として、先端的研究の紹介は量子光情報工学研究分野にお願いしたこと及び、仙台における「物理」研究の歴史紹介としては、記念資料室の展示物の中から「陽極分割型マグネトロン」を展示することとしたこと。
- ② 1 号館 1 階展示室のパネル展示について、各部門から 2 研究分野ずつ 2 年間（初回は 1 年展示の研究分野もあるが）展示することとし、1 年ごとに 1 研究分野をローテーションしていくことを、配付資料により提案があり承認した。

なお、次回の更新は 10 月 1 日を予定しており、各部門でのローテーションを決定してほしい旨の依頼があった。

(4) 学部教務委員会

5 月 30 日及び 7 月 4 日開催の工学部教務委員会並びに 5 月 31 日及び 6 月 27 日開催の系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。

(5) 東京フォーラム実行委員会

東京フォーラムの進捗状況について、下記の報告及び依頼があった。

- ① 特別講演会の産業界からの講師について、決定したこと。また、基調テーマを未来として、講演を行っていただくこと。
- ② 予算について
  - ・ パネル展示の経費について、参加研究室で一部負担願いたいこと。
  - ・ 説明要員の旅費については、各研究室で負担願いたいこと。
- ③ ポスターデモ展示については、展示 WG で、デモの予定等を含めアンケートを行う予定であるので協力願いたいこと。

3. その他

- (1) 議長から配付資料に基づき、受託研究の受け入れについて報告があった。
- (2) 議長から配付資料に基づき、民間等との共同研究の受け入れについて報告があった。
- (3) 議長から配付資料に基づき、職員の受賞について紹介があった。
- (4) 議長から配付資料に基づき、奨学寄附金及び受託研究の第一四半期の受け入れについて報告があった。

II. 協議事項

1. 規程の改正について

担当教授から、東北大学電気通信研究所高圧ガス危害予防内規の一部改正について、配付資料により説明及び提案があり、承認した。

2. 助教授人事について

担当教授から、人間情報システム研究部門高次視覚情報システム研究分野助教授候補者の選考をしたい旨の提案があり、承認した。

引き続き、議長から選考委員会委員の提案があり、承認した。

3. 議長から、産学官連携研究員の任用について、配付資料に基づき説明があり承認した。

4. 議長から、学術創成の研究員（研究支援者）の任用について、配付資料に基づき説明があり承認した。

5. その他

(1) 平成 17 年 9 月実施大学院前期・後期課程入学試験監督者の選出について

議長から、平成 17 年 9 月実施大学院前期・後期課程入学試験監督者について、配付資料に基づき説明の後、承認した。

III. その他

1. 学士院賞受賞記念講演会・祝賀会について

議長から、6 月 29 日（水）15：00 からホテルメトロポリタン仙台で行った大野教授の学士院賞受賞記念講演会及び祝賀会について、盛会のうちに無事終了した旨の報告及び出席に対する謝辞が述べられた。

また、大野教授からも関係各位に対するお礼があった。

2. 議長から、東北大学 100 周年記念セミナーについて、日本経済新聞に全面広告を掲載した旨の紹介があった。(新聞回覧)
3. 議長から、100 周年記念事業募金の応募状況について配付資料により説明の後、募金について協力願いたい旨の要請があった。
4. 議長から、6 月 1 日(水)のドレスデン工科大学副学長の視察に関連し、八木秀次先生が日本人初の留学生としてバルクハウゼン教授の指導を受け、ほとんどの大学が強電の時代にあって東北大学の電気系の方向を弱電としたこと及び、東西冷戦時代にあってもドレスデン工科大学からの留学生を受け入れていたことなどのドレスデン工科大学と東北大学電気系の歴史的関係について説明があり、今後新しい時代の新たな何らかの連携を組んで行きたい旨の発言があった。
5. 議長から、理事(研究担当)との研究推進及び産学連携の推進に係る懇談について、7 月 6 日 9:30 から行うこと、若手教員との懇談が主になっており、助教授 6 名、助手 4 名に対応願うこと。
6. 経理課長から、片平地区の火災に関連し、「安全点検のお願い」を 6 月 17 日に各研究分野へ文書で通知しているところであるが、再度点検をお願いしたい旨の依頼があった。
7. やわらかい情報システム研究センター実施委員長から、昨年度導入したやわらか知能ネットの運用に伴って、所内無線 LAN を利用した IP 電話機能を合わせもつ携帯電話機能端末を各研究室(助教授研究室を除く)に 1 台ずつ準備したことの報告があり、後日使用希望アンケートをとるので是非利用願いたい旨の依頼があった。ただし、基本契約料金分を超えて使用した分は各研究分野で負担願いたいこと、また、この電話機の使用感想についてアンケートをお願いしたいことの付言があった。